

編集後記

昨年、2011年3月5日に前回の第12回フォーラムを開催しました。そのほぼ1週間後の3月11日に、あの東日本大震災が発生し、東京電力福島第1原子力発電所の事故も起きました。その痛手は1年たった今も、少しも癒えていません。現在も不自由な生活を強いられている方々に対し、改めまして心からのお見舞いを申し上げます。また、被災地域の日も早い復興を心より祈念致します。

東日本大震災や東電福島第1原発の事故の影響の前には、山岳環境問題へ向かう気持がなかなか湧かない状況でした。しかし、私達に出来ることを続けることが大切なことだと、多くの皆さんに支えられて、今年も3月に13回目となる「山のトイレを考えるフォーラム」を開催できることとなりました。

この時期にはいつも雪について思いを巡らします。今シーズンは、昨年につき、山陰、北陸、東北、北海道の日本海側では、豪雪です。多くの方々が苦難に見舞われ、御苦労をされています。春を待つ山々の積雪の様子はいかがでしょうか。

資料集には、今回も全国からいろいろの話題を提供頂きました。道内からは、利尻町の佐藤(雅)様と岡田様との共著による利尻山山岳年報として利尻山のこの1年を知らせて頂きました。羅臼岳の携帯トイレブースの導入計画をウトロ自然保護事務所の野川様から紹介頂きました。日高・幌尻山荘の御苦労の状況が今年も高橋様から届きました。長年に渡って大雪山国立公園の自然環境保全に関わってこられた活動を美瑛山岳会の内藤様より紹介頂きました。斜里岳、藻琴山のトイレ問題を共著で松尾様より紹介頂きました。夕張岳ヒュッテのトイレ状況は、河村様より報告がありました。大雪山での携帯トイレ利用適地情報という試案提案を土栄様より頂戴しました。

本州からは、神奈川県・丹沢山系でのトイレマナー啓発活動を、かながわパークレンジャー石川様より紹介頂きました。白山のトイレ事情についてNPOネイチャープロジェクト外白山の三谷様から報告頂きました。屋久島からは、小原様より新設された新高塚小屋の山岳トイレの状況報告が届きました。

また、上幸雄様には機関誌：国立公園から、鍛冶様には機関誌：木の目草の芽からの転載の許可を頂き、著作報文の紹介をすることが出来ました。

本資料集に寄稿頂きました皆様、お忙しいなか本当にありがとうございました。深く感謝申し上げます。

この13回目の資料集を、例年通り皆様のお手元に届けることが出来る喜びと共に、少しでもお役にたてるようにと願っています。

(小枝 正人)